

エッソ・フォーミュラトヨタ シリーズ第1戦

今年は念願だったエッソ・フォーミュラトヨタシリーズに「Team NAOKI with LE PRIX SPORT」から参戦出来ることになりました。このチャンスを与えて下さった、沢山のスポンサー様、チームオーナーの服部さん、LE PRIX SPORT の皆さんやレース関係者の方々など沢山の方のおかげでステップアップ出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。

■3月30日 フリー走行初日 DRY 富士スピードウェイ

今年参戦するフォーミュラトヨタ(以下、FT)と去年まで参戦していたFJ1600との違いのひとつとして、全国のサーキットを転戦するということが、挙げられます。

今回の舞台となる富士スピードウェイは先月、合同テストで一回走ったことがあるだけで、正直まだ走り足りないというのがあったのですが、走ったことのないサーキットでいかに早くベストな走行ラインなど見つけられるかということがFT一年目の僕の課題だと感じました。

そんな中始ったフリー走行では、まずラインや車の動きの確認などから入りました。しかし前回走ったときの自分のタイムより1.5秒くらい遅いタイムでしか走ることが出来ず、中々ペースがつかめません。そして2本目の走行で3速のギヤを割ってしまい、貴重な走行時間を失ってしまっただけではなく、メカニックの方にも余計な仕事を増やしてしまいました。申し訳ありません。

走行終了後、チームメイトのロガーと自分のロガーを比べてみて、自分の遅いコーナーや、ライン、ブレーキの使い方など確認して翌日に繋げます。

■3月31日 フリー走行2日目 DRY

この日は2枠しか練習枠がないので、昨日確認した自分の悪いところをしっかりと直しながら走らなければなりません。そしてそこを意識しながら走るのですが、あるところが直ると別のところが悪くなったりと、1周をまとめる事が中々出来ません。そしてタイヤ的にも大分距離を走っていたので、予選のセッティングのことも考えてNEWタイヤを投入しました。NEWタイヤを使って感じたことは去年まで走っていたFJよりもタイムが出る幅が短いということです。そのことを考えるとタイヤが暖まった後3周くらいでしっかりとめてこなければいけません。この走行でタイム的には上がったのですが、まだ自分のベストも更新できず、トップとの差も2秒くらいあるままという情けない結果でした。けれどロガーで見て自分が遅いところが減ってきているので、後は明日の予選でどれだけそこを直せるかというのが課題です。

■4月1日 公式予選 DRY

予選9位

この日は朝から天気もよく、初めてFTの予選に挑むには絶好のコンディションでした。昨日の走行から大幅にセッティングを変更したので、20分しかない時間の中でそこを確認しながらの予選になります。

そして、いよいよFT初の予選が始まり、しっかりとタイヤを暖めながらまずは単独でアタックに入ります。アタックに入っすぐに、昨日のセットとの違いを感じることで、昨日より乗りやすくなっていたのが確認できたのでそのままアタックを続けることにしました。そして、アタック2周目で6番手につけ、次の周には更にタイムを縮めます。そこで、自分の今のレベルなら単独で走るより誰かについたほうがタイムを出せると感じたので、1周のクールラップを挟み、別のドライバーの後ろについたのですが、いざアタックとなるとそのドライバーはピットインしてしまいました。その間にも自分の順位は少しづつ下がっていったのですが、落ち着いて他のドライバーを探し再度アタックに入ります。スリッパを上手く使うことができ、いざアタックという1コーナーで自分は痛恨のハーフスピン。どうにか立て直したもののタイムアップどころではなく、その後も単独でもう一回アタックしたのですがタイムアップは出来ないまま、最終的に9番手で初の予選を終えました。

自分では全然納得出来るような成績ではないのですが、いろんな事を含めてこれが今の自分の実力だと実感しました。しかしチームメイトとロガーで比べてみても遅いところは、ほぼふたつの複合コーナーに絞られてきていたので、少しずつですが前とのタイム差も詰まってきたのが確認できました。

この日やっと今までの自己ベストくらいのタイムにはなったものの、周りのドライバーは当たり前のことですが、前回のテストよりも速くなってきています。自分のこれからの課題として、次、走る時は最低でもこのラインからスタートしなければいけないし、今の自分の感じだと、少ない時間で自分の悪いところを直す事が出来ずに、また同じところからの繰り返しになってしまうので、どこのサーキットに行ってもそういう走り方を出来るように考えてやっていきます。

■4月2日 決勝 WET

朝、目を覚まして外を見てみるとなんとかなりの雨が…。自分はFTにステップアップしてWET路面で走行したこともなく、もちろんですがこのサーキットのWETコンディションも初めてです。しかも昨日わかった自分の遅いコーナーを直す事も出来ないで少し複雑な気分だったのですが、レースのことを考えると、自分は雨に対して特に苦手意識もないし、ある意味自分が入賞するチャンスだと思い気持ちを入れ替えます。

レース前にはチームオーナーの服部さんや監督の館さんから「焦らず最後まで走れば絶対チャンスがあるから、今まで通りの走り方で大丈夫。」というような感じのことを言ってもらい、落ち着いて走ることを考えレースに挑みました。

そして、フォーメーションでコース上に川が出来てないかなど確認しながら、しっかりタイヤを暖めていよいよ決勝スタートです。

シグナルレッド・消灯・スタート！

タイミングもバッチリでホイールスピンも最小限に抑えることができ、4台くらいをパスして1コーナーへ。しかしそこでそのままコースアウトしかけてしまい、3台にパスされてしまいます。ここで焦ってはいけないと、とりあえずその3台の後ろについたのですが、その中の1台がスピン。そこでチャンスだと思い、最終コーナーの前で1台に並びかけたのですが、接触しそうになり、今度は自分が痛恨のスピン。どうにかエンジンはかかったのですが、最後尾まで落ちてしまい、ここから前を追い上げます。単独で走ることでブレーキポイントなど中々つかめないままコースアウトをしては戻るというのを繰り返してしまいます。

けれど、その中でもタイヤのグリップに全神経を集中させていかにスライドを抑え、車速を落とさず立ち上がれるかということを考えたり、FJと違ってパワーもあるので全ての操作を丁寧に、それでいて走行ラインや使うギヤもいろんな事を試しながら追い上げました。そして、少しずつパスして最終的に8位でFTデビュー戦を終えることになりました。

今回の成績は予選の速さなども含めて本当に情けない結果でした。

しかも、今の自分でも持っている力を出し切り、ミス等がなければ、もっと前でチェッカーを受けることも出来たと思います。

気持ちの面でも去年のような余裕もなく、レースの中でもその焦りがでてこいう結果に繋がったと思います。

走りの部分では去年よりレベルの高いクラスだと感じたのですが、精神的な面は基本的に今までやってきたFJと同じ部分だとも思うので、これからそういうところは活かしつつ、変えて行かなければならないところは変えて行くなど、今回のレースで凄く大きな経験を得れたと思います。次のレースはまだ一回も走ったことのないサーキットなのですが、この経験を活かして今まで以上に頭を使いやっていくのでご指導、ご支援よろしくお願いします。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT DRIVER

吉田 広樹